

議会ガイド



第4回定例会一般質問を中里小・薄市小の6年生が傍聴

12月4日(水)、第4回定例会一般質問が行われ、中里小6年生47名、薄市小6年生11名が傍聴に訪れた。2月12日に子ども議会が開催予定となっており、子ども達は真剣に耳を傾けていた。

第4回定例会 (平成25年12月)

目次	■ 第4回定例会	P 2
	■ 一般質問	P 4
	■ 第5回臨時会	P 7
	■ 委員会だより	P 7
	■ 議会の動き	P 8
	■ 活動報告	P 8

子育て支援対策に向けた取り組み

放課後児童クラブを六年生まで拡充へ

第4回 定例会

11月29日～
12月5日

平成二十五年第四回定例会が、十一月二十九日から十二月五日までの日程で開催されました。
十二月四日には一般質問が行われ、川山光則議員、塚本悦子議員、荒関富雄議員の三名が、町側の答弁を求めました。
最終日の五日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など議案二十四件を、いずれも全会一致で可決、同意しました。

条例改正

- 放課後児童健全育成事業条例の一部改正
小学校児童が安心して豊かな放課後の時間を過ごせるよう支援するため、対象児童を現行の三年生までから六年生までに改めるもの。
- 税条例の一部改正
■国民健康保険税条例の一部改正
地方税法施行令及び施行規則の一部改正に伴い、条文を整備するもの。
- 税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正
- 介護保険条例の一部改正
- 町営住宅条例の一部改正
- 若者定住住宅条例の一部改正
- 特定公共賃貸住宅条例の一部改正
- 道路占用料等徴収条例の一部改正
- 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、延滞金等の割合の見直しをするため条例の一部を改正するもの。
- 行政財産使用料徴収条例の一部改正
- 農業集落排水処理施設条例の一部改正
- 漁業集落排水処理施設条例の一部改正

水道事業給水条例の一部改正

消費税法及び地方税法の一部改正による消費税率の引き上げに伴い、条例の一部を改正するもの。

人事案件

■人権擁護委員候補者の推薦
現委員佐々木守善氏の任期が平成二十六年三月三十一日をもって満了となるため、後任の委員に同氏を再推薦するもの。

その他

■字の区域の変更
宮野沢地区の国有林野の一部を桐ノ木開畑組合が農

道用地として取得することに伴い、当該土地を字区域に編入するもの。

■つがる西北五広域連合規約の変更
つがる西北五広域連合事務所の移転に伴い、つがる西北五広域連合規約の一部を変更するもの。

現：五所川原市役所北棟
4階

新：つがる総合病院内3階

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の追加及び規約の変更
構成団体に弘前地区消防事務組合を追加するもの。

補正予算

■一般会計補正予算第八号

予算総額を五八八八万円追加するもの。主な補正額(歳出)は次のとおり。



給水管取り替え工事を行う福祉センター

□総務費
○無線システム普及支援事業補助金 二二五万円

□民生費

○老人福祉センター給水管取替工事費 二六三万円

○障害者福祉費に係る扶助

費

五九五万円

○子ども・子育て支援システム導入業務委託料 八六七万円

□衛生費

○西北五環境整備事務組合負担金 △一〇六五万円

□土木費

○町道除雪業務委託料 二千万円

□消防費

○全国瞬時警報システム改修業務委託料 二七八万円

■国民健康保険特別会計補正予算第四号

事業勘定の予算総額を五
四万六千円追加するもの。
補正した主な歳出は、職員
人件費の調整及び保険税の
過年度返還金の追加。
診療施設勘定の予算総額
を一一四万九千円追加する
もの。補正した主な歳出は、
職員人件費の追加。

■介護保険事業特別会計補正予算第二号

予算総額を三〇万五千元追加するもの。補正した主
な歳出は、職員人件費の追
加。

■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第三号

予算総額は既定のままで
内部補正するもの。補正し
た主な歳出は、臨時職員賃
金及び需用費の追加。

■後期高齢者医療特別会計補正予算第一号

予算総額を三六〇万三千
円追加するもの。補正した
主な歳出は、後期高齢者医
療保険料等を調整。

■水道事業特別会計補正予算第三号

補正予定額を四七万円追
加するもの。主な支出予定
は、職員人件費の追加。

**傍聴席は、
あなたの席です！！**

中泊町議会 平成26年第1回定例会は、3月上旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成25年第4回定例会の傍聴者は、64名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

・町営住宅の入居方法は ・中里高校存続に向けた取り組み方は



川山光則議員

Q

知人が、小泊の町営住宅の入居募集があると聞き、小泊支所に相談に行つたが、間もなく募集は始まるが、募集から受け付けが何週間かあり、その後希望者が2人以上あれば抽せんと言われた。知人は現在入居している大家に早く出てくたさいと言われていて、困つたと、私のほうに相談があつた。旧小泊村時代は住民の代表でつくる選考委員会があつて、



さわやか団地

A

希望者があればその都度選考委員会を開き、適格かどうかを調べて、すぐ決めたように私は記憶しているが、それがいつから変わったのか。

■三上環境整備課長

入居の例外として災害等を受けた人たちは当然

募集なしで入れるが、一般的には、理由や困窮度を審査する。大抵甲乙つけがたい困窮度であることから、選考委員会をやめて、抽せんしている。合併後は、小泊地域も中里地域に做つて抽せんを行い入居者を決定している。

Q

中里高校は、今のままでは、次の再編計画には存続は無理ではないか。つがる市や五所川原市から逆に中里高校に入ってもらえるような高校づくりをするしか方法はないのではないか。当局の考えは。

A

■小野町長

県では、平成三十年次から次期再編計画を進めることになっている。地域全体の児童生徒数が著

しく減少している中、再び校舎化案が計画される可能性も高く、今後の状況は非常に厳しいものと思われる。

将来も単独校として維持していくためには、入学人数の確保が重要となるが、武田中里高校線のバスの運行など、生徒の通学手段確保を行うとともに、教育委員会や町内中学校などと協議を進め、生徒や父兄の意識調査なども行いながら単独校として存続できるよう対策を検討し、引き続き努力したい。



武田・中高線バス

・ピュアの現状と今後の課題は ・子どもにもインフルエンザ接種助成を



品揃え豊富なピュア店内の様子



塚本悦子議員

Q

当初の加工利用希望者と現在の加工利用状況はどうなっているのか。また、設置した機器は有効利用ができているのか。加工者への技術指導者を必要としないのか、施設利用者の声はどうか。利用者協議会における意見やコミュニケーションはうまくとれているのか。

A

■小野町長

野菜や果物を初め、山菜、漬物、花卉のほか、各種総菜など順調な売れ行きであり、旧ピュアとは単純に比較はできないが、一・五倍から二倍の売り上げとなっているようである。生産農家の皆様の努力と協力のたまものと感謝している。加工施設についても十分とは言えないが、豆腐やパン、山菜加工などの利用が図られている。これからは冬期間となり、販売額等の減少も考えられるが、ピュアの運営について行政、指定管理者、生産農家が一丸となって売り上げを伸ばしていく。

Q

インフルエンザの予防接種は、東京渋谷区では一歳から中学三年生まで全額助成であり、五所川原市では六十五歳以上の

A

■小野町長

高齢者は無料となった。ぜひ我が町でも少しでも接種費用を減額できないか。

町民の皆さん全てに対

して助成することは、財政事情等を考えたとき、難しいと思うが、ゼロ歳から中学生までの助成については集団での感染防止や子育て家庭の経済的負担の軽減などから検討したい。

一般質問は インターネット・ライブ中継が ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・
すくすくしたまえ館のロビーにも
テレビ中継されています。
ぜひご利用ください。



HPアドレス

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

・町の産業振興の取り組み方は
 ・パルナス通りを中心街に
 ・土地改良事業への町の支援は



荒関富雄議員

Q

戸別補償制度もかつては一万五千円であったのが今新聞報道等によると半額と。農地の集約化については、県で公社があったものを中間管理機構の新設など、T P Pの問題、いろいろ制度の変化があるが、農家に対していつごろ、情報提供をするのか。

A

■小野町長

正式に国及び県から説明がなされていない事情がある。恐らく県でも的



パルナス通り

確なものが入っていないのではないかと推察する。ただ、これまでの情報から当町の実態に当てはめて考えると、当町農業の大転換期になるものと思っている。農家の皆様はそのことに大きな不安を感じているので、それを払拭しよう努める。そのためには県、国から早急に情報をもらわなければならないので、関係機

Q

関との連絡を密にしたい。パルナスの通りは、今後車力線の新大橋がつながった際には、中心街的な形にならないかと思う。農業振興地域の網がかかっているだけでは、白地にできないものであればそういう計

A

■秋元副町長

町として、将来的には商業地、宅地として優良な土地であるということ、土地利用計画では計画地域にしている。白地にするかにについては、土地利用計画の上位計画として農業振興地域の法律があるので、それをクリアしないと白地にできない。

Q

十三湖土地改良区では区画整理の計画がある。受益者の賛同を得て進めることができた場合、地元負担の二十五%の中に自治体の持ち出し二十%がある。町が基幹産業である農業を支援するのだという積極的な姿がなければ、前に進んでいかな

A

■小野町長

本計画については、九月十二日に十三湖土地改良区から要望書が提出されている。その席で、私は地権者の工事に対する同意が得られれば町として予算化することを約束している。なお、調査計画の同意については今現在九十三・四%の同意を得ていると聞いている。二十六年度は国費が百%で調査計画を実施する旨伺っている。また、国営事業による芦野頭首工全面改築工事が平成二十七年年度から平成三十四年度までの計画として実施される。本事業は本町農業の基盤強化のため、重要な役割を果たすものと思っている。工事の同意が得られ、平成二十七年国営事業と同時着工できることを期待している。

第5回臨時会

11月7日

平成二十五年第五回臨時会が、十一月七日に開かれ、議案三件が、いずれも全会一致で可決されました。

財産処分

■町有地の処分について

- ・土地の所在 中泊町尾別字小谷二十六番地一
 - ・面積 七三三三㎡
 - ・契約金額 一八〇〇万円
 - ・契約の相手方 社会福祉法人向明会
- 理事長 加賀田幸一

旧尾別小グラウンドを払下げ

補正予算

■一般会計補正予算第六号

中央公民館トイレ汚水管取替工事費として一六万円追加するもの。

■一般会計補正予算第七号

小泊小学校校舎雨漏防水工事費として一〇九万円追加するもの。



中央公民館

議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 11月22日(金)

〈案 件〉

- 平成25年第4回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他



委員会だより



10月

- 3日 西北郡町村議会議長会協議会
- 8日 西北五環境整備事務組合定例会
- 28日 青森県町村議会議長会正副議長・事務局長研修会

11月

- 7日 第五回臨時会
- 8日 知事を囲む行政懇談会
- 13日 第五十七回全国町村議会議長会全国大会
- 14日 第五十七回全国町村議会議長会全国大会
- 15日 第五十七回全国町村議会議長会全国大会
- 20日 道州制に関する議員研修会
- 22日 議会運営委員会
- 高規格道路建設決起大会
- 25日 つがる西北五広域連合事務組合定例会
- 26日 議会運営委員会視察研修
- 28日 町善行功労者表彰式
- 29日 第四回定例会開会日

12月

- 4日 定例会一般質問
- 5日 単行案審議・採決・閉会
- 26日 西北五広域福祉事務組合定例会

活動報告
議会運営委員会視察研修
～岩手県西和賀町議会にて～

11月26日

十一月二十六日(火)に、議会運営委員会視察研修を実施しました。二十六日午後二時に西和賀町役場沢内庁舎にて、西和賀町議会議長佐々木正裕氏、事務局長深沢千里氏の出迎えを受け、三階議員控え室にて、研修を受けました。最初に西和賀町議会議長より挨拶を受け、当町議会議長も挨拶をしまし

た。研修事項は、①住民の声を聞く会、②総括会議についての2点でありましたが、それに付随し、議会基本条例制定の経緯や、西和賀町議会の概要についても説明を受けました。その後、質疑応答に移り、各委員から活発な議論が行われました。最後に、お礼の挨拶を議会運営委員長が行い、視察研修を終了しました。



議会運営委員会研修の様子